

2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年10月26日

上場会社名 蝶理株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8014 URL https://www.chori.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 先瀨 一夫
 問合せ先責任者(役職名) 経営管理部長 (氏名) 河村 泰孝 (TEL) 03-5781-6201
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	130,026	27.3	4,813	201.3	5,269	188.6	3,987	—
2021年3月期第2四半期	102,155	—	1,597	△65.4	1,825	△62.6	261	△91.9

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 5,033百万円(—%) 2021年3月期第2四半期 281百万円(△90.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	162.06	—
2021年3月期第2四半期	10.64	—

(注) 2021年3月期第2四半期売上高の対前年同四半期増減率は、2021年3月期の期首から「収益認識に関する会計基準」等を適用しているため、記載しておりません。

また、2022年3月期第2四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益及び包括利益の対前年同四半期増減率は、1,000%以上となるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	123,139	63,007	51.1
2021年3月期	110,591	58,831	53.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 62,968百万円 2021年3月期 58,795百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	14.00	—	23.00	37.00
2022年3月期	—	42.00			
2022年3月期(予想)			—	42.00	84.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,000	29.5	9,500	159.3	10,000	114.8	6,800	445.2	276.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 株式会社スミテックス・インター、 除外 -社(社名)
ナショナル

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.11「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	25,303,478株	2021年3月期	25,303,478株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	694,345株	2021年3月期	703,266株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	24,604,084株	2021年3月期2Q	24,575,082株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大長期化の影響を受け、経済活動も引き続き一定の制限を強いられました。日本経済は、製造業を中心に回復が見られたものの、4度目となる緊急事態宣言の発出の影響等により、個人消費は引き続き低迷しました。世界経済は、中国や欧米諸国が経済活動正常化に向けた動きを加速する一方で、東南アジアの複数の国々では感染が再拡大し、正常化への道筋は見えておりません。また、原材料価格の上昇、コンテナ不足による物流停滞や輸送費用の高騰、世界的な半導体供給不足、中国の電力問題等の要因も加わり、先行は依然不透明な状況が続いています。

このような状況下、当社グループは、2020年5月29日に発表した中期経営計画「Chori Innovation Plan 2022」に基づき、激変する社会・経済環境へ即応すべく、リスク管理を始めとした「守り」の施策を一層徹底する一方、持続的成長のための基本戦略を推進しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、増収大幅増益となり、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は過去最高益を更新しました。売上高は前年同期比27.3%増の1,300億26百万円となりました。利益面では、増収効果や、前年同期に中国の化学品製造会社グループに対する貸倒引当金繰入額24億29百万円を販売費及び一般管理費に計上したことの反動により、営業利益は前年同期比201.3%増の48億13百万円、経常利益は前年同期比188.6%増の52億69百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は39億87百万円（前年同期は2億61百万円）となりました。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)
売上高	102,155	130,026	27,871	27.3
営業利益	1,597	4,813	3,216	201.3
経常利益	1,825	5,269	3,443	188.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	261	3,987	3,725	—

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 繊維事業

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)
売上高	43,553	51,213	7,659	17.6
経常利益	1,783	1,539	△243	△13.7

当セグメントにおきましては、売上高は、株式会社スミテックス・インターナショナルの新規連結子会社化等により、前年同期比17.6%増の512億13百万円となりました。一方、セグメント利益（経常利益）は、新型コロナウイルス感染症の拡大長期化に伴う国内市場における衣料消費の低迷等により、前年同期比13.7%減の15億39百万円となりました。

② 化学品事業

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)
売上高	57,462	76,950	19,487	33.9
経常利益又は経常損失(△)	△298	3,214	3,512	—

当セグメントにおきましては、ファインケミカル分野やバルク商材の有機化学品分野等が引き続き堅調に推移したことにより、売上高は、前年同期比33.9%増の769億50百万円となりました。利益面につきましては、増収効果に加え、前年同期に中国の化学品製造会社グループに対する貸倒引当金繰入額24億29百万円を販売費及び一般管理費に計上したこと（当期の計上なし）の反動により、32億14百万円のセグメント利益（経常利益）（前年同期は2億98百万円のセグメント損失（経常損失））となりました。

③ 機械事業

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)
売上高	1,104	1,816	712	64.5
経常利益	265	476	210	79.3

当セグメントにおきましては、欧米州・アフリカ等における自動車等の需要回復の影響等を受け、売上高は、前年同期比64.5%増の18億16百万円となり、セグメント利益（経常利益）は、前年同期比79.3%増の4億76百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,231億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ125億48百万円増加しました。これは株式会社スミテックス・インターナショナル及びその海外子会社2社の連結子会社化等に伴い、主に受取手形及び売掛金が77億46百万円増加、商品及び製品が57億75百万円増加、のれんが15億15百万円増加、関係会社預け金が20億円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、601億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ83億72百万円増加しました。これは株式会社スミテックス・インターナショナル及びその海外子会社2社の連結子会社化等に伴い、主に短期借入金が52億6百万円増加、支払手形及び買掛金が24億18百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、630億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億75百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により39億87百万円増加、為替換算調整勘定が9億51百万円増加、配当金の支払いにより5億65百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末比24億82百万円減の151億18百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の減少は25億59百万円（前年同期は資金の増加11億59百万円）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益58億8百万円、支出の主な内訳は、売上債権の増加額27億10百万円、棚卸資産の増加額24億1百万円、法人税等の支払額21億46百万円、仕入債務の減少額8億29百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の増加は4億15百万円（前年同期は資金の減少5億36百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入7億34百万円、関係会社株式の売却による収入7億2百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出12億94百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は6億59百万円（前年同期は資金の減少7億36百万円）となりました。これは主に、配当金の支払額5億65百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月11日に公表しました業績予想値に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,828	14,326
関係会社預け金	3,000	1,000
受取手形及び売掛金	56,141	63,888
商品及び製品	10,665	16,440
仕掛品	816	692
原材料及び貯蔵品	4	8
未着商品	751	1,042
その他	4,442	4,842
貸倒引当金	△114	△111
流動資産合計	90,537	102,130
固定資産		
有形固定資産	2,493	2,112
無形固定資産		
のれん	491	2,006
その他	335	415
無形固定資産合計	827	2,422
投資その他の資産	16,733	16,475
固定資産合計	20,054	21,009
資産合計	110,591	123,139
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,622	42,040
短期借入金	1,809	7,016
1年内返済予定の長期借入金	113	113
未払法人税等	1,703	1,401
賞与引当金	686	712
関係会社整理損失引当金	42	42
その他	4,119	5,117
流動負債合計	48,097	56,443
固定負債		
長期借入金	358	301
繰延税金負債	955	936
退職給付に係る負債	2,254	2,348
その他	94	102
固定負債合計	3,662	3,689
負債合計	51,759	60,132

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,800	6,800
資本剰余金	1,792	1,799
利益剰余金	49,903	53,014
自己株式	△698	△689
株主資本合計	57,798	60,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,663	1,844
繰延ヘッジ損益	138	45
為替換算調整勘定	△705	245
退職給付に係る調整累計額	△99	△92
その他の包括利益累計額合計	997	2,043
非支配株主持分	36	39
純資産合計	58,831	63,007
負債純資産合計	110,591	123,139

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	102,155	130,026
売上原価	89,193	115,749
売上総利益	12,961	14,276
販売費及び一般管理費	11,363	9,462
営業利益	1,597	4,813
営業外収益		
受取利息	41	126
受取配当金	119	222
持分法による投資利益	109	110
債務勘定整理益	48	44
雑収入	123	159
営業外収益合計	442	662
営業外費用		
支払利息	44	40
手形売却損	39	52
為替差損	93	3
雑支出	38	111
営業外費用合計	214	207
経常利益	1,825	5,269
特別利益		
固定資産売却益	0	316
投資有価証券売却益	15	221
関係会社株式売却益	—	18
ゴルフ会員権売却益	1	—
特別利益合計	17	557
特別損失		
関係会社整理損	238	16
固定資産処分損	7	0
投資有価証券評価損	98	—
投資有価証券売却損	25	—
特別損失合計	369	17
税金等調整前四半期純利益	1,473	5,808
法人税、住民税及び事業税	1,422	1,833
法人税等調整額	△155	△12
法人税等合計	1,267	1,820
四半期純利益	206	3,988
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△55	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	261	3,987

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
四半期純利益	206	3,988
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	639	180
繰延ヘッジ損益	△90	△93
為替換算調整勘定	△344	771
退職給付に係る調整額	6	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△135	180
その他の包括利益合計	75	1,045
四半期包括利益	281	5,033
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	338	5,033
非支配株主に係る四半期包括利益	△56	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,473	5,808
減価償却費	263	337
のれん償却額	147	230
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	0	55
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,710	56
受取利息及び受取配当金	△161	△348
支払利息	44	40
為替差損益(△は益)	29	△0
持分法による投資損益(△は益)	△109	△110
固定資産売却損益(△は益)	6	△315
投資有価証券売却損益(△は益)	10	△221
投資有価証券評価損益(△は益)	98	—
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△18
関係会社整理損	238	16
売上債権の増減額(△は増加)	10,677	△2,710
棚卸資産の増減額(△は増加)	597	△2,401
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,519	△829
未払消費税等の増減額(△は減少)	409	256
その他の資産の増減額(△は増加)	222	△83
その他の負債の増減額(△は減少)	△296	△343
その他	△75	△64
小計	2,768	△645
利息及び配当金の受取額	209	271
利息の支払額	△44	△38
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,774	△2,146
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,159	△2,559
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△561	△27
有形固定資産の売却による収入	0	734
無形固定資産の取得による支出	△55	△86
投資有価証券の取得による支出	△200	△33
投資有価証券の売却による収入	96	2
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,294
関係会社株式の売却による収入	—	702
出資金の売却による収入	4	254
貸付けによる支出	△1	△1
貸付金の回収による収入	201	217
その他	△21	△53
投資活動によるキャッシュ・フロー	△536	415

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△307	77
長期借入れによる収入	500	—
長期借入金の返済による支出	△47	△56
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△784	△565
その他	△96	△112
財務活動によるキャッシュ・フロー	△736	△659
現金及び現金同等物に係る換算差額	△133	320
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△247	△2,482
現金及び現金同等物の期首残高	12,988	17,601
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,741	15,118

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	43,553	57,462	1,104	102,120	34	102,155	—	102,155
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	224	224	△224	—
計	43,553	57,462	1,104	102,120	259	102,379	△224	102,155
セグメント利益 又は損失(△)	1,783	△298	265	1,751	8	1,759	66	1,825

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事務処理受託等の各種役務提供を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額66百万円は各報告セグメントに配分していない全社損益であります。全社損益は、報告セグメントに帰属しない財務関連の損益等であります。
3. 報告セグメント、その他の事業セグメントのセグメント利益又は損失及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	51,213	76,950	1,816	129,980	45	130,026	—	130,026
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	217	217	△217	—
計	51,213	76,950	1,816	129,980	263	130,243	△217	130,026
セグメント利益	1,539	3,214	476	5,230	20	5,250	18	5,269

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、事務処理受託等の各種役務提供を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額18百万円は各報告セグメントに配分していない全社損益であります。全社損益は、報告セグメントに帰属しない財務関連の損益等であります。
3. 報告セグメント、その他の事業セグメントのセグメント利益及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、株式会社スミテックス・インターナショナルの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「繊維事業」のセグメント資産が9,941百万円増加しております。